

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS EX
ビジネスIPプリンター

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

各務原市社会福祉協議会 様

地域福祉課主事の横山様にORPHIS EX7200についてお話を伺いました

地域福祉課・事業課からなる各務原社会福祉協議会様は、地域福祉活動計画(通称：いきいきプランかがみはら)を策定し、「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」をキャッチフレーズに住民福祉活動を展開しています。

ORPHISはまさに求めていた機械！

各務原市社協では広く住民に参加を募ることが多く、特に3月～5月は2・3万枚印刷をするため、私たちにとって機械の“印刷スピード”は譲れないポイントです。

印刷物は認知症対策イベントの体操チラシや案内文書、地域に配るパンフレットなどが1回で1,000枚～2,000枚、会議資料は10～20枚の冊子にして100部ほど刷るなど、毎年決まった時期の印刷もあれば、イベントごとに必要な分を印刷したり、年4回出している広報紙(A3二つ折り)では外注で5万部印刷をしています。足りなくなることもある為、ORPHISで1,000枚～2,000枚ほど追加印刷をしたりしています。また社内資料は決算時に数千枚印刷し、地域のチラシも多く印刷をしますが、ORPHISは印刷が1分間に120枚というスピードでできるため、例えば2,000枚必要なチラシでも約17分で終わってしまう速さで、まさに私たちが求めていた機械でした。

以前は旧機種X7200を使用しており、丁合はORPHISで行い印刷後のホチキス留めは手作業で行なっていましたが、現在のEX7200は丁合機能にステープル機能が付き後処理も機械側で全て出来てしまう為、時短した分を他の資料の作成や打ち合わせ、外出の時間にあてることができ、業務効率UPと地域への活動の強化が図れております。

またORPHISはスキャンがA3ノビサイズまでできるとスキャンスピードも1分間で50ページと速く、取っておきたいファイルもあっという間に楽々とPDFデータ化することが出来るため、頻繁に使用しています。もちろん資料は紙ベースでも残しますが、確認をしたい時にわざわざ席を立て保管棚まで見に行くよりも、データで残した方が席に座ってPCで見ることが出来る手軽さが嬉しいですね。

他にも、インクの容量が多いことによるインク交換頻度の少なさや、紙詰まりの箇所をモニターで示してくれるので簡単に紙詰まりを直せますし、余計な場所に触れて手を汚すといった煩わしさもなく、色々と手間が省けて助かっていますよ。

数値化による使いやすさ

ORPHISはランニングコストも安く、内製化出来るものや社内で作成したチラシはほとんどORPHISで印刷をしています。元々、メーカー算出のランニングコストで低コストのことは知っていましたが、ジムブレンさんにJB value systemで私たちが実際に使用しているORPHISのランニングコストの算出をいただいた結果がとても安かったことや定期的に訪問をして機械の調子を見ていただいたり、ORPHISは細かい設定が出来てしまう分まだ使いこなせていない機能もありますが営業担当の横山さんに教えていただいたりと、ジムブレンさんの困った時に相談のできる距離に安心しています。

更に活用するために・・・

気になる点としてはコピー機と比べてしまうと画質が少し劣るため、綺麗に印刷をしたい資料については外注に出していますが、普段の印刷には問題はないため社内書類は全て低コストで印刷のできるORPHISです。あと筆記用具やホチキスなど身の回りの物を入れておける小物入れのスペースがついていると嬉しいですね。

また今後やってみたいことは「プレコ」(紙ファイル)の印刷で、今はイベントで一人に数枚の資料をお渡しする時に封筒に入れてお渡ししていますが、封筒も数に限りがあるため今後はプレコにPRも含めて印刷内容を変えて印刷し、必要な人数分だけを内製化するなどしていきたいと考えています。



1枚物のチラシから、ステープル留めた冊子や資料まで、用途は様々！

営業担当者の声

営業担当：横山 祐貴



普段お忙しい業務の中、限られた時間で印刷作業をされているため“作業時間を短縮することで普段の業務効率をあげ、更に利用者様とのコミュニケーションの時間に繋がれないか”と思い、ORPHIS EXをご紹介させていただきました。今度も地域活性化に繋がるような使用用途のご提案をしていきたいです。